



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題 「全ての世界に出て行こう」 “Go Ye into All The World”
 アジア地域会長主題 「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
 西日本区理事主題 「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましよう。」
 “Attend club meetings with a clear motive to make the most of them.”
 中部部長主題 「長所を活かして生き生きと」
 金沢クラブ会長主題 「多くのワイズと出会い、多くのワイズと握手を交わそう」

2013 9 月間強調 Menettes

今月の聖句

神は言われた。「水の中に大空あれ。水と水を分けよ。」
 神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた。
 そのようになった。

創世記 1 章 6 節～7 節

9 月強調月間

メネット、コメントを誘って例会を持ちましよう！
 笑顔も広がり、クラブに活気が出てくるはずですよ！

谷本久美子メネット事業主任(東広島クラブ)

9 月例会 プログラム

とき 2013 年 9 月 19 日 (Thu.) 18:30～20:30
 ところ 金沢ニューグランドホテル
 会費 ¥3,000 (会員不要) ¥2,000 (メネット)

司会 山内ミハルさん

開会・点鐘 数澤淑子メネット会長
 主 題 司 会 者
 ワイズ・ソング 一 同
 今月の聖句 司 会 者
 ハッピー・バースデー 幸正一誠会長
 ゲスト紹介 山内ミハルさん
 食前の感謝 山本典子さん

~~~~~会 食~~~~~

スピーチ “花はなんの花?” 松田昭臣氏  
 委員会報告 各 委 員  
 ニコニコタイム 伊藤悦子さん  
 YMCA の歌 一 同  
 閉会・点鐘 数澤淑子メネット会長

### 8 月 クラブ活動状況

#### 第 1 例会 (8 月 15 日 Thu.)

メ ン : 伊藤、数澤、幸正、西、山本 (5 名)

出席率 : 100 %

メネット : 伊藤、数澤、澁谷、山本 (4 名)

ゲスト : 山岸氏 (1 名)

メキップ : 澁谷、清水、山内 (3 名)

#### 第 2 例会 (8 月 1 日 Thu.)

メ ン : 伊藤、数澤、幸正、澁谷、山内 (5 名)

メネット : 数澤 (1 名)

#### ニコニコタイム

9,500 円

クラブファンド

累計

37,000 円

#### BFポイント

切手 0 kg 累計 0 kg

現金 0 円 累計 0 円

第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30～20:30

金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311

第二例会 : 毎月 1 日 18:30～20:00

金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

会 長 幸正一誠 書 記 山内ミハル  
 副会長 澁谷洋太郎 会 計 伊藤仁信  
 前会長 数澤輝夫 メネット会長 数澤淑子

## 心の基幹と音楽

### 西 信之

人間がその活動を維持できるのは、大脳の皮質周りの細胞の働きによるが、この大脳皮質が死滅した場合、記憶や言語、思考といった働きは停止してしまう。通常、10分間以上心肺停止状態が続いたら、この大脳の皮質はもとより、神経は麻痺してしまい殆どの場合、死に至ると言われている。家内は、40分間の心肺停止の後、突然心臓が動きだし気道挿入後に人工呼吸器が取り付けられた。本人の書き残した意志が大学病院の倫理委員会で認められたのは、40日後であった。その2週間後、自呼吸の兆候がほとんど無かったので、家族が見守る中で人工呼吸器が外されたが、鬼のような形相で家内は自呼吸を始め、やがて、すやすやと眠ってしまった。当初は「後何日生きられるか」という状態であったが、痛み等の神経回路も繋がり、少しだが自分で体をくねらせるようになっていく。家族ぐるみでお世話になった国際生理学会会長で脳神経科学の権威である金子章道先生は、これは奇跡ですと見舞い状に書かれた。

大脳皮質が死滅しても音楽は判るようで、片っ端からYouTubeで様々な音楽動画を見せ、一生懸命画面を追う事に気がついたのが、Celtic Womanのライブ映像であった。アイルランドのダブリンを本拠に世界中で活躍している総勢200名のグループであるが、中心は3~5名のソロシンガーと1名のバイオリニストである。ケルトのキリスト教音楽を中心に心に響く曲を演奏している。スコットランドやアイルランドのケルト音楽やその宗教性が日本人の心を揺さぶる、つまり共鳴し易いことは、ケルト人はヨーロッパの中心部から島や辺境地に追われ、日本人(弥生人)は、中国大陸の中心部から、列島へと逃れて来た心優しい(?)民族という共通性を持っているからと思われてならない。スコットランドがその中心地である長老派キリスト教が日本で広く受け入れられているのは、この民族の心の基幹における共通性があるからではないか、と私は思っている。

脳の階層構造の基幹部分で通じ合える心の響きが、音楽を通じて家内の中に起こっていることは、驚きであり、喜びでもある。このような家内の様子を見るにつけ、大脳皮質を失った人間の心にもやさしく受け入れられる音楽の素晴らしさを実感せざるを得ない。音楽は、決して大脳の上位階層部が関わっているのではなく、これを失った人間の脳の基幹部分で感じる事ができるすばらしい神様の贈り物である。Amen!

## 【8月例会報告】

8月の例会は通常に戻り点鐘からはじまりプログラム通り進行しましたが、澁谷、清水両君が入院のため出席出来ず残念でした。一日も早く全快退院出来ることをお祈りしました。

スピーカーには、山岸勝信氏をお迎えしお話しをいただきました。山岸氏は三谷産業(株)やキャスコ(株)で建材やゴルフボール等の開発・販売に尽力され退職後企画調査会社を設立自営されております。山岸氏は趣味として音響関係の造詣が深く「アナログからデジタルへの谷間」と題して音について話されました。その内容については、専門的でテクニカルな話しを交えての話だったので私の理解の範囲を越えた部分が少なからずありましたので、感想を交えながら概略的にまとめてみました。



「私は、オーディオマニアと言われてる者に入ると思っております。オーディオマニアは自然の音を本物そっくりを作り出す(再生を含む)音屋さんと音楽などとして楽しむ音楽屋さんとの分けられます。自分は後者から入ったが、今はその中間位の位置にいます。アナログから説明します。音楽とは、芸術の中で抽象的な表現で楽譜としては残るが、絵や彫刻のような形としては残らない。音そのものは残らない。オーディオ装置が無かった時代は、演奏者と聞く人が同時に同場所に居ないと音・音楽を聞くことは出来ず、謂わば一期一会の世界であった。これを設定するには莫大な費用が必要で、設定できる者は世の東西を問わず王侯貴族や富豪の一部の人達に限定されておりました。これを一般人に可能にしたのが発明王のエジソンで、所謂、音を録音・再生出来る装置を発明したからであり



ます。すばらしい発明で原理はデジタル装置になるまで同じでした。その間に録音・再生装置の材質・作成技術などはみなさんご存知の通り、ものすごく進歩発展シマ演奏に近い音・音楽を再生できるようになりました。竹針の機械的振動から発音し最初はそのままでしたが、電氣的に音波をひろい（真空管時代）それを増幅し軽量・小型化も図られました。また、ステレオ化が成功し臨場感を味わう（ステレオ時代）ことができるようになりました。さらに電磁力を利用し、レコード盤からテープ式になり大幅な改良で量・質ともに向上してきました。この様にアナログの技術は大変進歩発展しましたが、人間の欲望には際限がなくナマの音・音楽よりも本物に近づけようとして、電子的なデジタル方式なるものを作り出しました。単純に言うと2進法で音波を電子的に数字の0と1に置き換え、録音し再生はその逆で音を出す方法であります。その特長は機械的な方法で録音するのと違い、録音する材料の質が全く違い温度や湿度などに左右されにくく、0と1の組み合わせで録音されるので、その材料（材質）に損失（損害）を与えないで更にコンパクトに収納でき、半永久的に変化（変質）しないで保存できるようになりました。音の感覚として金属的に聞こえ、アナログの方が柔らかく聞こえるという人もおります。それなりに改良する余地は十分あります。例えば最後に音が出て来るのはスピーカーの部分ですが、これはアナログでもデジタルでも原理は同じです。昔からいろんな材料が出回っているの、ここを改良すれば自分好みの音・音楽を作りだすことができますから大いに音・音楽を楽しんで下さい。ちなみに私はデジタル好きです。」

以上山岸氏のスピーチされた概要ですが、まだまだ専門的な用語数値で話されました。しかし、門外漢の私では理解出来ずまた覚えられなかったので割愛いたしました。特にデジタルの部分は省略いたしましたのでご容赦下さい。（文責 伊藤仁信）

### 松田 昭臣氏 プロフィール

児童相談所長、児童自立支援施設長、保育専門学園長などを歴任。その間、看護学校、看護大学、栄養専門学校などの非常勤を兼任。

30年ほど前から「金沢こころの電話」に参加、現在は相談役として相談員の指導・支援に当たっている。

「ホトトギス症候群にならないために」「カウンセリングの実習」「ロールプレイ&エンカウンター」などの論文、著書がある。臨床心理士。

### 【2013-2014 年度第 1 回中部評議会報告】

8月31日（土）第17回中部部会開催に先立ち、第1回中部評議会が司会者北中部書記、開会点鐘平口中部部長にて開催されました。提出された議案数は10件。全て満場一致にて可決されました。その中で、5号議案の次期中部部長には大西 博昭ワイズ ホストクラブには四日市クラブが承認され、6号議案の次々期部長には荒川 恭次ワイズ、ホストクラブには名古屋グランパスクラブが承認されました。又、8号議案の部会献金の贈呈先には金沢YMCAよりYMCA日本同盟への贈呈が承認されました。平口中部部長より提出された議案2件につきましては議案提出書を別途配布致しますので、ご参照願います。

尚、前年度監査報告は渋谷ワイズが病欠のため、代読として中部監事の長谷川和宏ワイズがされ、承認されました。皆さん、この1年大変お世話様でした。深く感謝申し上げます。



今期第1回中部評議会



第17回中部部会講演 森乃福郎師匠



第17回中部部会 ネットアワー

~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆中部部会終わる

8月31日(土)金沢都ホテルに於いて、中部部会が118名の参加を得て、盛大に開催されました。金沢クラブからは伊藤久・メット、数澤久・メット、幸正久、清水久、山内久、澁谷メットが参加しました。

☆ジャガイモ到着について

今年も北海道から、ジャガイモ・かぼちゃを取り寄せます。
金沢着：2013年10月14日(月・祝)
配布：山内宅
詳細は追ってお知らせします。

☆第18回びわこ部会

日時：2013年10月5日(土) 14:30~18:00
場所：湖上ピアンカ
登録費：10,000円

☆大阪クラブ創立85周年記念例会

日時：2013年11月2日(土) 14:00~17:00
場所：大阪YMCA土佐堀会館903号室
登録費：無料

~~~~~ YMCA のお知らせ ~~~~~

☆早天祈祷会

日時：2013年10月1日(火) 6:00~  
場所：金沢YMCA集会室

Happy Birthday

該当者はありません

10月の担当

ブリテン執筆： 数澤 輝夫君  
山本 典子さん  
卓話担当： 西 信之君

~~~~~ ネット 報 ~~~~~

真夏の夜の夢物語

今年の夏はご存知の通り大変な酷暑や局所降雨とやらで日本中が異常気象に悩まされましたが、私の人生経験であまり記憶がないくらいの夏でした。この頃は朝夕幾らか涼しい感がしますが、それでも日中は30度を超すような日が続いているようです。

このような状態ですと私の様な高齢者にとっては、心身共に正常な生活が出来なくなる事態が発症する可能性が大になるようです。

この頃の新聞、テレビ等のニュースを見聞きすると未成年者の事件が非常に多い。未成年は20歳以下ですが、20年と言う年月は長いようで短い。例えば0歳の子供が成人式を迎え大人になるまでの期間で更に幼少期・児童期・青春期と細分することができ増す。その一期はたかだか数年だが大変重要な密度の濃い「三つ子の魂百までも」と言う諺があるように一生を左右するような期間であります。にもかかわらず私のような歳になると遠い遠い昔のできごとに感じ記憶も薄れてきているように感じますが、実は人間形成に重要な期間であることは前述の通りで心身の基礎に深く刻まれており決して無くなつてはおりませんとあるものの本に書いてありました。よく「親の顔が見たい」とか言われますがその現れのひとつだと思います。いかに若い時の教育が大切であるか物語っているようです。病気・災害なども初動動作の対応によりその後の状態が大きく変化する事はよく言われている事です。

ある夜暑くて寝苦しく熟睡できずにいましたが、多分その日のニュースでまた未成年者の事件など見たのではないかと思います。何故そのような事が起きるのか夢を見ました。理由はいろいろあるかと思いますが、一つの原因として平均寿命が長くなったからではないかと思っております。人生50年と言われた時代は前述の20歳前後で知識なり人間としての生きる道を教えられたので残りの約半分はそれを基礎として生きて行くことが出来たのではないのでしょうか。勿論例外はあったでしょうが心身共に50年の生涯を全うする一つの標準型ではなかったかと思われます。人生50年と言われた時代に生まれた者にとって生命が延びたのは有り難いことですが、高齢者になるほどあらゆる面で大変な努力を必要とするようになりました。大変目まぐるしい世の中になり、自分が生きていくのが精一杯で若年層に対する関心が薄くなり疎かになったのではなかろうかと思われます。従って、いわゆる物事の判断基準がわからずその結果、大事件などを引き起こしているのではないのでしょうか。

これは私の独断と偏見による「真夏の夜の夢物語」のことですので深く考えずに読み流して下さい。しかし、目が覚めてから決して一人で生きて行くことは出来ないものだと感じました。そして、その責任の一端は私共大人達にもあるのではないかと孫二人の成人式を終えた身として反省している今日この頃です。
(伊藤悦子 記)